



2月にしては暖かい日が続いたかと思えば、急に気温が下がったりし、体調管理が大変なこの頃です。気がつけばもうすぐ3月。残り少ない今のクラスでの生活を存分に楽しんでほしいと思います。

「年長さんと過ごすのもあと少しだね」

朝、廊下を歩いていると、どのクラスからもきれいな歌声が聞こえてきます。耳を澄まして聴くと年長組からは「卒園式」に歌う歌が、年少・年中組からは「ありがとうの会」や「卒園式」で年長児に送る歌が聞こえてきました。この一年間、幼稚園のリーダーとしていろいろな場面で頑張りや優しさをたくさん見せてくれた年長児です。最後の行事、卒園式で自分達の力を発揮しようと取り組み始めているところです。年中児は、「年長さん、やさしくてかっこよかったよね」「うさぎ当番、自分がやってみたら大変なことが分かったので、年長さんってすごい!」「いなくなるとさびしいなあ・・・」と言っていました。次年度のリーダーとして当番活動などのバトンを受け取り、実際にやってみて年長児が幼稚園のために、みんなのために、どんなに大変なことをしてくれていたかが分かったようでした。年少児は、ぐんぐんタイムや遠足で優しく手をつないでもらったり、一緒に遊んだことが嬉しかったようです。今年度は、春から異年齢でしっかりと関わり、心を通い合わせた子ども達。お別れの時が近づくとつれ、様々な感情があふれてきているようです。

ありがとう遠足

一年間一緒に過ごし、幼稚園のリーダーとして優しく頼りになった年長児に、「ありがとう」の気持ちを伝えたり、楽しい思い出をまた一つ増やしたりする『ありがとう遠足』。21日(水)に『花の郷』へ出かけました。あいにくの雨でしたが、一緒に出かけられるとあって、子ども達の気分はルンルン盛り上がりしていました。花の郷に着くと、異年齢混合のグループで行動することを話しました。グループのみんなで行動すること・花など飾ってあるものには触らないこと・他のお客さんの迷惑にならないよう走ったり大声で騒いだりはしないことを約束し、どこから見て回るかなどはグループにまかせ、職員は安全を見守りました。雨が降っていたので、最初は温室の花を見ました。「いろいろな色の花があるね」「この葉っぱ、大きい!」などたくさんの花に心を寄せていました。その後、雨の止み間を見て、トキのいる施設へ行ったり、公園を歩いたりしました。公園は広くていろいろな道があるので、「こっちの道を行ってみよう」「こっちは黄色いお花があるよ」など、グループの友達と相談してどの道に行くのか決めて楽しく歩きました。もう何回もグループでの活動を楽しんでいるので、迷子になる子は一人もいませんでした。最後は、お菓子とジュースのおやつでホッと一息つき、とても美味しかったようです。

園に帰るとお弁当タイム。グループで遊戯室の好きな場所を決め、お互いの顔が見えるようにシートを敷いて、美味しい美味しいお弁当を食べました。

降園前には、遊戯室に集まり、年中・年長児から年長児へ「ありがとう」の気持ちを伝える会をしました。「優しくて、かっこいいあお組さん、ありがとう」と言葉を言ったり、一生懸命作った写真フレームや鉛筆立てを年長児に渡しました。嬉しそうに受け取る年長児。最後に年長児が「一緒に遊んで楽しかった」「プレゼントをもらって嬉しいけど、少し寂しくなった」と感想を言いました。この一年たくさん関わってきたからこそその言葉だと思えます。



花の郷「大きい葉っぱだね」



『ありがとうの会』年中・年少児から心のこもったプレゼントをもらう年長児



年長児からもペンダントをかけてもらい嬉しそう

年長児の小学校巡り

本園では、年長児が毎年 2 月に、それぞれの就学先の小学校へ行かせてもらい、校舎内を見せてもらったり、自己紹介カードを校長先生や教頭先生に渡して、小学校入学を楽しみにするという「小学校巡り」を行っています。年長児全員で出かけ、自分や友達が入学する学校を見せてもらいます。今年も、国富小学校・さくら小学校・平田小学校へ出かけました。学校へ着くと元気な声で挨拶をし、小学校の先生の話を一息懸命聞きました。職員室や図書室を案内してもらったり、授業の様子を見せてもらったり、時には「一緒に蛙飛びしてみる？」と誘ってもらって大喜びで一年生さんの真似をして体を動かしたり・・・それぞれの学校を体いっぱい感じているようでした。「お話が目を見て聞けるね」「静かに廊下を歩けるね」とたくさん褒めてもらったり、「4月に待っているからね」と声をかけてもらったりしました。きっと、不安もあるけれど、「小学校って楽しそう」「先生、優しいな」と、小学校を楽しみにできたのではないのでしょうか。



「図書室を見てたくさんの本に「体育にちょっぴり参加させて」「1年生の授業を見学しました」
びっくり！」国富小 もらいました」さくら小 平田小

今年度最後の保育公開

2月9日（金）、今年度最後の保育公開を行いました。今楽しんでいること、おうちの人に見てもらいたいこと、一緒にやりたいこと、できるようになったことを発表したい、など、子ども達はやりたいことがたくさんあったようです。年少組では、長縄や転がしドッジなどの集団遊びや、お正月遊びなど、友達と遊ぶのが楽しくて嬉しくて笑顔いっぱい遊んでいました。年中組では、ハンカチ落としとして、ルールを守って遊ぶと楽しいことや、自分にハンカチが来なくてちょっぴり悔しい気持ちも感じながらクラスみんなで楽しみあっていました。親子28人での「なべなべそこぬけ」は大盛り上がりでしたね。年長組では、「できるようになったり得意な運動遊び」を発表しました。長縄の中での縄跳び、竹馬での技、跳び箱の5段、6段跳び、一輪車、なかなかできない悔しさを乗り越え、できなくても諦めないで取り組んだ、子ども達の頑張りやの結晶です。大きな拍手をもらって達成感を味わっていました。その後は、まだ上手くはできないけれど、今頑張っていることを見てもらいました。実は、この姿こそが本当に大切にしたい姿です。「できた」ことばかりを褒めると、できないことが苦痛になり、できない自分はダメなんだ！という気持ちを抱きかねません。できないかもしれないけれど、目標に向かって一生懸命頑張るその過程をしっかりと認めていくことが、これから先の人生に大きな力となっていくと信じています。ご多用の中、お出かけいただき、ありがとうございました。



集団遊びが楽しい年少児 親子で「なべなべそこぬけ」 全員で大縄跳び、大成功！
年中児 年長児

地域の中の幼稚園

14日（水）に、第3回運営協議会を行いました。園評価の「学校関係者評価」や、幼稚園の取り組みなどについて協議をして頂きました。その中で「地域でできることがあったら、遠慮なく教えてくださいね」と言ってくださいました。本当に幼稚園の運営のこと、子ども達のことを考えてくださっていることが伝わってきて、胸がいっぱいになりました。運営協議会、教育後援会、楽園クラブ、平田図書館・・・たくさんの地域の方が関わってくださり、子ども達を温かく見守ってくださることに感謝するとともに、子ども達の健やかな成長を支え、笑顔いっぱい元気いっぱいの平田幼稚園であることが、皆さんへの恩返しかなと思って取り組んでいきます。